

# シンポジウム

大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野  
Presents

## 地域運営の新たな仕組み 『地活協』形成の成果と課題

少子高齢化と人口減少、地域のつながりの希薄化などに伴い、地域社会における課題も複雑・多様化する中で、これまでのような全市一律の取組みでは地域ごとの状況に応じた解決は困難という認識に立ち、大阪市は、おおむね小学校校区等地域を基本単位に、各種地域団体やNPO、企業などが、さまざまな地域課題に取り組む地域運営の仕組みとして、地域活動協議会（地活協）を提唱、今年3月までに300余りが形成されました。地活協形成にあたり、大阪市は、市内を5つのブロックにわけ、公募で選定された3つの事業者により支援が行われています。大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野では、これらの事業者の方々にお越しいただき、地域経営における地活協形成の成果と課題などについて考えるシンポジウムを開催することにしました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このシンポジウムは、当分野の入試広報の一環として実施するため、修了後、簡単な入試説明会を行います。

- ★日時 2013年7月30日(火)  
午後6時30分から9時
- ★場所 大阪市立大学大学院  
梅田サテライト101教室  
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上
- ★講師 第2・4ブロック:大阪市コミュニティ協会 金井文宏氏  
第3ブロック:三菱UFJリサーチ&コンサルティング 島崎耕一氏  
第1・5ブロック:大阪市社会福祉協議会・りそな総研 藤原明氏
- ★司会 大阪市立大学大学院 柏木宏
- ★参加 無料 ★予約 不要

### 地域活動協議会とは？

大阪市は、2012年7月に「市政改革プラン」を策定した。そして地域の多様な意見を的確に反映し、活動内容の透明性を確保しつつ、各主体がその特性を發揮して、さまざまな地域課題に取り組む自律的な地域運営の仕組みとして、平成25年度末を目途に、市内全332地域において地域活動協議会（地活協）の形成をめざしていた。地活協は、おおむね小学校校区の地域を基本単位に、地域団体やNPO、企業など多様な団体が話し合い、地域の将来像を共有しながら、地域の活性化に向けて、地域活動や課題解決に主体的に取り組む地域運営していくという。なお、地活協の形成と自律運営を支援するため、民間委託により、各区役所に中間支援組織（まちづくりセンター支部）が設置されている。

### 都市共生社会研究分野とは？

2003年4月に開設された社会人向け大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の分野のひとつ。NPOをツールに共生社会の形成を目指す人材を育成することをミッションに掲げて、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けNPOのマネジメント含め、実践的な教育研究活動を展開している。



お問い合わせ

大阪市立大学大学院創造都市研究科

URL: <http://www.gscc.osaka-cu.ac.jp/>, E-mail: [kashiwagi@gscc.osaka-cu.ac.jp](mailto:kashiwagi@gscc.osaka-cu.ac.jp)

Hiroshi Kashiwagi